

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	仲 松 寛 (自民・無所属連合)	1 教育及び防犯行政について 2 伝統、文化国際交流スポーツ行政について	青少年犯罪について 去る 2 月10日未明に豊見城市真玉橋のアパート駐車場で不審火が相次ぎ、本島南部に住む中学生 3 人が補導された。また、去る 2 月16日に那覇市内の風俗店で14歳の女子中学生、17歳高校生 2 人等を働かせていた疑いで、県警少年課と那覇署は風俗営業法違反で同風俗店従業員を逮捕した については、次の事項について伺う (1) 今回の放火、補導事件を受けて、教育委員会及び学校現場では、どのような対応を行ったか伺う (2) 再発防止に向けて、今後の対応について伺う (1) 空手道会館(仮称)の建設誘致について 昨年行われた世界のウチナンチュ大会では、空手道・古武道交流祭が県立武道館で開催され、沖縄県空手道連合会加盟団体をはじめ、県内外の多くの空手愛好家が空手の発祥地沖縄で、日頃鍛えた技を披露した。空手は国境を超え、世界 150 カ国、約 5 千万人以上ともいわれる「空手人口」を有しており、沖縄空手は琉球の歴史と共に今日まで伝承されてきた沖縄の誇るべき伝統武術である については、次の事項について伺う 県は、平成 23 年度予算「空手道会館(仮称)整備調査事業」及び平成 24 年度「空手道会館(仮称)基本計画等策定事業」を計上しているが、その事業概要と予算内容について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			昨年 9 月定例会における本員の代表質問で、翁長市長は「市長就任 11 年になり、やると言ったものはやってきたが、やると言って、できていないのが空手道会館である。一日でも早くという気持ちで動く」と前向きな答弁を行ったが、その後の進捗状況について伺う 一括交付金を活用して、「空手道会館(仮称)那覇市誘致」に向けて、那覇市独自の調査費計上を措置する考えはないか。見解を伺う (2) 世界少年野球大会の沖縄開催誘致について 世界各国、地域の少年、少女を招いて毎年開催している「世界少年野球大会」は、野球を正しく全世界へ普及、発展させるとともに、世界の子どもたちの友情と親善の輪を広げようという趣旨と世界の少年、少女の国際交流を通して相互の理解を深め、世界平和の促進に寄与することを目的に日本とアメリカのホームランキング王貞治、ハンク・アーロン両氏の提唱で企画された。1990 年の第 1 回大会が開催されてから昨年は、台湾において、「野球トモダチ、地球トモダチ。高雄でね！」台湾世界大会が開催された については、次世代を育む世界の野球少年、少女たちを沖縄に招いて、野球を通じた国際交流と沖縄に招く平和への思い、平和への願い、意義及び観光スポーツコンベンション沖縄、那覇を世界にピーアールすることを主眼に、復帰 40 周年記念イベントとして、沖縄セルラースタジアム那覇をメイン会場とした「世界少年野球大会沖縄開催」を誘致すべきと考えるが、市長の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 環境行政について	市管理公園内におけるドッグランについて 社団法人ペットフード協会が調査した平成 21 年度、全国犬猫飼育率調査結果によると、全国の犬猫飼育頭数は 2,234 万 3,000 頭である うち、犬の飼育者は 1,232 万 2,000 頭となっている。また、同調査では犬猫飼育者は、非飼育者と比べて様々な面でペットの効用を享受していると公表している。その調査では、子どもについて、人の痛みが分かる 79.2%、落ち着きがある 59.3%、高齢者について、生活にメリハリ、リズムがある 55.1%、笑顔を欠かさない 48.6%、夫婦関係について、喧嘩が少ない 62.3%、自分自身について、孤独を感じない 78.2%等、いずれも犬猫飼育者の方が、非飼育者に比べ高いパーセンテージであり、ペット飼育による効用が示された結果となった ドッグランとは、愛犬と飼い主のための広場で、犬同士をリードから離して遊ばせ、運動させる空間、施設のことである 都市部の狭い空間においては、自由にリードを離して愛犬を遊ばせ運動させることができないため、大変苦慮する現状がある。ドッグランは、犬を遊ばせ運動させる以外に、他の愛犬家との交流や愛犬にルールやマナーを訓練させるため、年々全国的な広がりを見せている については、次の事項について伺う (1) 那覇市における犬飼育頭数はどれくらいか伺う (2) ドッグラン実験モデル事業として、市管理公園内で実施する考えはないか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 3 月 1 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 小中一貫教育について	(1) ある教育学者は、小中一貫教育の考え方は、小学校と中学校という「大きな移行」を廃止して、学年という「小さな移行」の積み重ねのみで、中学校までの教育をする考え方である。これまで経験したことのない新しい環境への移行は、不安や悩みを抱かせるが、それは必ずしもネガティブなものではなく、子どもの成長・発達を促すものであり、「大きな移行」こそが子どもの発達に大きな意味がある。と指摘している 「中一ギャップ」解消や、発達の早期化を理由に、小学 5・6 年に対して「中学生らしさ」を早期に求める、教科担任制や定期テストなどは、教育学的有効性の検証がされているのか。見解を問う (2) 「中一ギャップ」で不登校が増えるのを解消するとの説明だが、小中一貫教育のモデルとされる品川区などの不登校率が実施前より下がったという検証があるのか
		2 安心安全支援員制度について	(1) この制度の内容と現場での実施状況、予算を問う (2) 制度の実施期間と勤務時間の拡充の要望があるが、見解と対応を問う
		3 雨水の有効活用について	(1) 雨水の流出抑制対策になる、雨水の有効活用と地下浸透枡設置の補助事業の内容及び雨水の地下浸透枡などにより、湧水が増えることでどのような効果が期待できるか伺う (2) 雨水条例を制定する考えはないか (3) 教育委員会は、識名園の池の水質をどのように改善しようとしているか、また改善するために、池の湧水量を増やすことが根本的に必要ではないかと考えるが、上下水道局と連携した対策を検討してはどうか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 農業政策について	(1) 本市において市街化農地の果たしている役割は何か (2) 本市は農業振興地域がなく、農地でも宅地並み課税で、相続などを経て宅地化へと移行してしまう、大きな要因の一つとなっている。市内に農地を残し潤いのある環境を後世に残すためにも、農地を所有している市民への負担軽減を行う考えはないか (3) 平成 25 年度からの市民農園の確保と課題は何か
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 3 月 1 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	花 城 正 樹 (民 主 党)	1 栄町活性化について 2 やる気元気旗頭フェスティバルについて 3 犯罪と外灯について	深刻化する地方の疲弊を打破しようと取組む団体の支援を目的に実施された「地域再生大賞」に、沖縄県那覇市の「栄町市場商店街振興組合」「なはまちづくりネット」の２団体が優秀賞に選ばれた 「なはまちづくりネット」は、伝統の繁多川豆腐作りに着目したプロジェクトで地域活性化に成功している団体であるが、今回は、栄町市場商店街振興組合のある栄町をフォーカスし、以下伺う (１) 本市として、栄町を活性化させるための取組み状況 (２) 地域が抱える課題 那覇青年会議所にとっては、継続事業である「那覇“子”綱挽」。本来、綱挽と旗頭はワンセット、一対であるという伝統的な流れがあり、昨年は「やる気・元気旗頭フェスタ in なは」のプログラムに盛り込まれ、それが実現した (１) 昨年度開催した中での成果、課題について伺う (２) 施政方針にある「更なる充実」とは何か (１) 犯罪と外灯の関係について説明を求める (２) 仲井真地区(国場川沿い)の事件・事故(交通・窃盗・痴漢等)の件数を問う (３) 自治会が存在しない場所への防犯灯設置について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 新市民会館建設に向けた基本構想の策定について	国場・仲井真地域には、図書館も公民館もない。公園も他の地域と比較して圧倒的に少ない 仲井真地域には、都市計画決定された「くねくね公園」に隣接する広大な遊休地がある (1) 上記エリアに新市民会館建設を検討できないか。見解を伺う (2) 現市民会館の移転構想に伴う跡地利用案の一つに、複合施設(保健所・中央公民館・図書館・教育研究所・真和志支所)が挙げられているが、それを切り離し、その中の一つを上記エリアに誘致検討できないか。見解を伺う
		5 武道の教育カリキュラム導入過程について	新年度から武道が教育カリキュラムに導入されるが、教育現場では、誰がどのようなプロセスを経て生徒たちを指導することになったのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 3 月 1 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	前 泊 美 紀 (無 所 属)	1 協働のまち づくりについて 2 公共施設の 老朽化について	(1) 那覇市協働によるまちづくり推進基金の 運用状況と今後の見通し、活用方針について (2) 第 4 次那覇市総合計画との関連について 「税金の一部の使い方を決められる仕組みをつくる」施策の中で、「1 %支援制度」、「協働事業提案制度」について検討したことがあるか。あれば、その経緯と進捗について伺う 自治基本条例制定に向けた取り組み状況について (1) 学校施設の老朽化について 「新沖縄子どもを守る会」の建築士らが 2 月、独自で市立幼小中学校 89 校の建物外部状況を目視調査し、「12 校に明らかに危険な校舎がある」こと等を指摘。市に対応を求めている 上間小学校等、実施計画において改築が予定されている建物への補修等の安全対策について伺う (2) 公共施設の長寿命化対策として、計画的・統一的な施設整備に取り組む必要がある。市の見解と進捗を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 3 月 1 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	湧 川 朝 涉 (日本共産党)	1 生活保護について	生活保護受給者が通院する際に必要な交通費を支給する、いわゆる通院移送費について 2010 年 3 月 12 日の厚生労働省社会・援護局長通知における「これまで文書による周知を行っていない自治体においては、別添の文書例を参考に速やかに実施されたい」との留意事項について、当局の見解と対応を問う
		2 道路行政について	市道（歩道）の草木の刈り取り、樹木の剪定について 全市的に草木の刈り取り、樹木の剪定が放置され、市民からの苦情が多い。予算を大幅に増やして、全市的に取り組むべきである 当局の見解と対応を問う
		3 小祿支所の建て替えについて	2007 年に行った補修工事でも、安全確保が不十分であると思う。早急な建て替えが必要である。当局の見解と対応を問う
		4 教育行政について	(1) 高良小学校のプールの改修・修繕について プールの排水溝の故障と塗装の劣化で授業に支障をきたしている。子どもたちの教育環境を保障するためにも、早急なプールの改修・修繕を行うべきである。当局の見解と対応を問う (2) 学校給食への県産品の利用率の向上と使用割合が 100% になった場合の経済的な波及効果について、2008 年 12 月定例会における私への答弁に照らして、どうなのか。当局の見解と対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 3 月 1 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	久 高 友 弘 (改革クラブ)	障害福祉について	(1) 平成 21 年 12 月定例会で当時の担当部長は、「型事業の委託料につきましては、3,340 万円で、その内訳は 1 日当たり実利用人員 15 人以上を対象に基礎的事業に加え、機能強化事業を行う地域活動支援センター型事業費 900 万円と那覇市障害者福祉センターの相談事業、機能訓練事業、その他事業を行う事業費 2,440 万円からなっております」と答弁された。そこで 2,440 万円の内訳を伺う (2) 平成 23 年 9 月定例会で、本員が質問した平成 18 年度特別会計収支決算報告書の中に、障害福祉サービス事業 5,600,000 円、相談支援事業 666,000 円、移動支援事業 518,000 円、基金より繰入 7,000,000 円が予算計上されているが、決算では全て 0 となっている。なぜそうなったか、那覇市と那覇市身体障害者福祉協会のどこが変更したのか、という質問に対し、「那覇市身体障害者福祉協会が 0 にした。那覇市から指導をしたということではございません」と答弁された。 あの時の答弁は間違っていたのではないか。改めて伺う (3) 那覇市障害者福祉センターの平成 17 年度から平成 21 年度までの経費合計と市負担額合計の推移とそれに対する財政上の問題はないのか伺う (4) 那覇市障害者福祉センターの平成 18 年度からの指定管理料の定め方と、平成 21 年度からの指定管理料の定め方を伺う (5) 平成 18 年度、19 年度、20 年度の那覇市地域活動支援センター型事業委託契約書がなぜ副市長決裁なのか、理由を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 3 月 1 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	清 水 磨 男 (民 主 党)	1 恋愛行政について	(1) 婚姻届けの受け取りについて伺う (2) 街コンの実施について伺う (3) DV被害やストーカー被害を男性が相談する際の現状について伺う
		2 地元プロスポーツチーム支援について	奥武山公園におけるサッカー場建設について伺う
		3 子育て行政について	幼稚園での給食導入について伺う
		4 情報政策について	クラウドコンピューティングなど、もはや常識となった技術の活用について伺う
		5 中心市街地活性化について	(1) 国際通り周辺におけるキャッチや路上販売について伺う (2) かつてのリジューム事業とその後の状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 3 月 1 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	亀 島 賢二郎 (自民・無所属連合)	1 防災行政について 2 公園行政について	那覇市において、多くの観光地があるが、その中でも、国際通り、平和通り、第一牧志公設市場がある。そこで、中心市街地の防災（特に災害時における外国人観光客への対応と公設市場周辺地域の避難場所）について伺う (1) 那覇市にある多目的広場の使用について伺う 多目的広場でできる学童スポーツは何か 新都心の多目的広場においてスパイクが使用禁止になっているが、理由は何か。 また、他の多目的広場でも同じなのか 小中学校の建て替え時における運動場が工事のため使用できない場合において、優先的に近くにある公園・多目的広場を使用できるのか伺う (2) 市長は、平成 24 年度施政方針において、「周辺離島振興の取り組みを考えている。特に、渡嘉敷、座間味、栗国、渡名喜の 4 離島村との間で連携事業を立ち上げ、実施する」と表明した。市長の 4 離島村に対する思いを強く感じている 4 離島村の船舶航路は、泊港が発着点となっている。そこで、とまりんの隣にある泊緑地を観光課と連携し、にぎわいを生む場所として利用できないか見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 24 年 3 月 1 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	大 浜 美早江 (公 明 党)	1 福祉行政について	(1) 本市の高齢者世帯及び障害者数について伺う (2) 成年後見制度利用支援事業と権利擁護事業について 本来の成年後見制度の在り方と本市の成年後見制度利用支援事業について、見解を伺う 成年後見制度利用支援事業の要綱の見直し等の検討状況について伺う 権利擁護事業（利用者数、待機者数（一般世帯、保護世帯））の実態と課題及び対応について伺う
		2 教育行政について	人権教育について (1) 学校現場での人権教育の年間時間数はどのくらいで、どのような教材を用いているのか (2) 平成 21 年 12 月定例会において「地域の人材活用も含めて人権教育を学校へ積極的に紹介する」との教育長答弁があったが、具体的にどのような事例があるのか (3) 人権教育については、児童の成長過程（小学校低学年・高学年、中学校）において、どのように行っているのか
		3 ハーリー会場周辺における子どもの日の企画について	復帰 40 周年を迎えることから、ハーリー会場へ大型こいのぼりを設置してはどうか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長